

令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
57	斐太高等学校

学校教育目標	豊かな心と主体性を育み、幅広い知識と高い学力を身に付けることで、多様な社会に対応できる創造性豊かな人材を育成します。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたり探究心を持って自ら学び続け、問題解決や新しい価値の創造に取り組むことができる生徒 多様性を尊重し他者と協働することができ、国際社会の持続的発展や平和に貢献することができる生徒 地域社会の発展を考え、答えが見えない課題に対してもグローバルな視点からアプローチすることができる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の興味・関心が引き出され、深い学びと進路実現を可能にするバランスの取れたカリキュラムの編成とICTの活用や少人数によるきめ細かな指導 地域や社会と連携した探究的な学習や体験活動等を通じて、教科横断的な学び、協働的な学びを推進するとともに柔軟な思考力を醸成 生徒を主体として運営される様々な行事を通して創造的企画運営力やリーダーシップ、チャレンジ精神を育成 	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲と知的好奇心を備え、向上心を持って学び続けることができる生徒 自ら進んで人と関わる中で、他者との対話を大切に自他の個性を認めるなど、仲間と協力して物事に取り組める生徒 広く社会に目を向けることができ、地域や世界の課題をジブンゴト（自らの課題）として捉えることができる生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 学習指導 <ul style="list-style-type: none"> 今年度から実施される新教育課程の実施科目、内容、授業形態及び観点別学習評価についての研究を継続します。 新カリキュラムの改善に向けて検証します。 ICTを活用した学習方法の研究を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①昨年度末に決定した観点別評価について、その実施状況や問題点などについて教科内で共通認識をもち、学習指導委員会などで取り上げて改善します。 ②教育課程委員会及び学習指導委員会等で現行教育内容の検証や反省を行い、来年度以降の教育計画や指導計画に生かします。 ③平素よりICTを活用した授業研究を行うとともに、教員研修を実施します。 		<ul style="list-style-type: none"> ①生徒、保護者対象アンケートの結果分析 ②授業アンケートの実施、分析 ③家庭学習状況調査・外部試験等の結果
2 進路指導 <ul style="list-style-type: none"> 地域社会に貢献できる幅広い知識と高い学力を有する人材を育成します。 自己の能力や適性を理解し、主体的に進路を考え、目標を達成できるサポート作りを構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進学ガイダンスなどを通して主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに課外学習等の機会を設け、学力の向上を図ります。 ②職業講話やインターンシップ、地元企業ガイダンス等を通して地域社会の発展に寄与する態度を育成するとともに職業観の高揚を図ります。 ③LHRや進路検討委員会などを通して、1年次生の適切な文理選択を手助けするとともに学部学科説明会や東大見学など生徒が主体的に進路を考えることのできる機会を提供します。 		<ul style="list-style-type: none"> ①模擬試験やスタディーサポートの昨年度末と今年度末の結果比較 ②進路希望調査における生徒の回答内容 ③卒業生アンケートの実施、分析
3 生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> 高等学校教育指導の方針と重点に則り様々な教育活動を通じて、生徒一人一人に規範意識と倫理観を体得させ、自主自律的な態度や行 	<ul style="list-style-type: none"> ①毎朝の交通安全指導や校門指導で安全意識を醸成し挨拶を励行します。 ②講話等により情報リテラシーを醸成します。 ③教育相談週間を設定し、スクールカウンセラーを活用した支援を充実させます。 		<ul style="list-style-type: none"> ①自転車安全運転チェックシート（年2回） 交通事故調査結果 ②情報モラルチェックシート（年3回実施）の回答結果 ③クラス居心地度調査（年3回実施）やメールによるアン

<p>動をとることができる生徒を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制を充実し、関係各所の連携強化を図って全職員による教育相談を実践します。 	<ul style="list-style-type: none"> ④心理検査「アイチェック」の結果を日々の支援に活用します。 ⑤人権教育を推進し、広く人権に対する意識の高揚を図ります。 ⑥生徒や生徒を取り巻く環境を注意深く観察し情報共有を行います。 	<p>ケートの回答結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ④アイチェックの結果分析 ⑤授業後感想文の分析 ⑥生徒、保護者の支援状況（相談記録）
<p>4 探究活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FRH（地域共創フラッグシップハイスクール）事業や、スクール・ポリシーに基づいた総合的な探究の時間の取組を推進します。 ・地域活性化プログラムを改善します。 ・人材育成を目指したプログラムを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①FRHの取組や総合的な探究の時間の運用について、昨年度の課題を考察しながら、柔軟に推進します。 ②地域、外部機関と連携を取り、生徒の可能性を広げる工夫をします。 ③生徒と地域の方々と交流できる機会を増やしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各プログラムの生徒アンケート結果 ②生徒のレジュメ、プレゼン内容 ③学校評価アンケートの結果分析
<p>5 図書広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒を中心とした図書委員会活動を支え、図書館の環境を整えます。 ・生徒を主体とした広報活動のスムーズな運営と内容の改善を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の読書活動を促すために行事等との有機的な連携を図ります。また、教員向けの図書館便りを発行するなど、教職員にも図書館の利用を働きかけます。 ②他分掌とも綿密に情報を共有し、全校体制での広報活動に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各クラスの図書の貸出し数、図書館の利用頻度の確認 ②行事ごとに実施する各種アンケート結果の分析
<p>6 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における感染予防対策を講じたうえで、生徒主体の学校行事を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①その時々現状を踏まえつつ、生徒が主体的に学校行事の企画運営に取り組むことができるよう資料提供や相談などのサポートを行います。 ②全校体制で行うことができるよう設備・道具、予算などをできる限り準備します。 ③他分掌・学年会との情報共有や協力を密にし、課外活動のスムーズな実施を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染が拡大する前との規模の比較 ②生徒会・各種実行委員会、職員などからの意見徴収 ③運営状況等についてのアンケートの検証
<p>7 保健厚生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における健康管理意識の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ①健康チェックカード、LEBERによる日々の健康チェックを徹底します。 ②健康管理を意識づけさせる掲示物を作成します。 ③公文書などによる情報発信を迅速かつ的確に収集します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①LEBER 使用者の平日入力 100% ②生徒の意識調査アンケートの実施、分析 ③アンケート等による運営状況の確認
<p>8 渉外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育友会・同窓会行事の中で、生徒と保護者・卒業生との関わりを提供し、多様な人間関係の中で深く幅広い学びの場を創出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①育友会や同窓会と連携しよりよい行事実施の形を考えます。 ②行事の中で生徒と保護者・OB・OGとの関わる時間や場を設けられるよう、話し合いの中で提案します。 ③会報誌により育友会・同窓会の活動について広報し相互理解を深める機会を作ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ①アンケートによる保護者の満足度調査 ②行事での保護者・卒業生・OB・OGと生徒との交流の場の設定状況 ③会報誌の準備・発行・配付までの経過と内容に関する意見の分析
<p>9 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の働き方改革を進め、風通しのよい職場環境づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①職員間の業務平準化、在校時間短縮、健康維持の注意喚起を推進します。 ②部活動ガイドラインの遵守、部活動数の適正化を図ります。 ③ハラスメントやメンタルケアの早期の発見と解決を推進します。 ④不祥事根絶のための研修を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①出退勤システム「勤次郎」の実績 ②活動の内容の検証 ③ストレスチェックなどの職員のメンタルチェック数値の改善 ④チェックシートによる取組の検証